科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー ：西洋美術の歴史 ILAS Seminar :History of Western Art			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　田口　かおり		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	12 (12) 人	配当学年	主として１回生	対象学生	全学向
曜時限	水5	教室	共東11			使用言語	日本語
キーワード	作品鑑賞 / 展覧会 / コレクションの形成 / ディスクリプション / 美術館の機能						

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

本授業は開講時に開催されている西洋美術の展覧会を一つ取り上げ、展覧会を複数のキーワードから多角的に読み解くことを試みるものである。 2025年は、京都の京セラ美術館で開催される「モネ睡蓮のとき」（会期：2025年3月7日～6月8日）を本授業の扱う対象とする。

授業の上半期では、本展覧会を（１）美術館の起源（２）美術館の機能（３）収蔵と展示（４）印象派の誕生（５）モネ・庭・水・光（６）装飾をめぐる問題（７）反射と反復　の7つの視点から解体・解読する。なお、期間中には実際に展覧会場に出向き作品を鑑賞する機会を設ける予定である。

下半期では、受講者が展示作品から各自一点ないし複数点を調査対象に選び、制作者、技法、制作年、展示歴、修復記録など作品に関連する情報を精査した上で、主題にかんする解釈を行い、発表の形式にまとめる。

授業内では、発表内容にかんする積極的な意見交換やコメントを歓迎する。

[到達目標]

・現在の美術館を取り巻く諸事情・経緯などに関する基礎的知識について理解する。
・美術に関する専門事項を学ぶ上での基礎となる能力を習得する。
・十分な検証のもと、考察や調査の結果を課題と関連づけてプレゼンテーションできる能力を身につける。

[授業計画と内容]

第1回：イントロダクション
第2回：美術館の起源
第3回：美術館の機能
第4回：収蔵と展示
第5回：印象派の誕生
第6回：モネ・庭・水・光
第7回：装飾をめぐる問題
第8回：反射と反復
第9回：展覧会での作品鑑賞
第10回：学生による発表（１）（２）
第11回：学生による発表（３）（４）
第12回：学生による発表（５）（６）
第13回：学生による発表（７）（８）
第14回：学生による発表（９）（１０）

ILASセミナー ：西洋美術の歴史(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー　：西洋美術の歴史(2)

第15回：フィードバック

[履修要件]

後期に開講される「創造ルネッサンス論基礎ゼミナール」の受講を推奨する。

[成績評価の方法・観点]

成績は

★平常点５０％＝授業への出席【コメントシート提出をもって確認：４０％】
ディスカッションへの参加【発表者への質問などを積極的に行うこと：１０％】
★発表５０％

の合計（１００％）で評価する。

発表においては各自がテーマをきめて発表をおこなう。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

・口頭発表のための予習準備と発表スライド・レジュメの作成
・講義内容を参考にしつつ、興味関心のある芸術作品あるいは美術作品についての学びを深める

[その他（オフィスアワー等）]

● オフィス・アワーについて:講義時間の前後に対応します。
個別の連絡手段（メールアドレスなど）は初回の授業の際に伝えますので、必ず出席をお願いします。
● 展覧会での作品鑑賞について:入場料や交通費等は自己負担となります。学生教育研究災害傷害保険等の傷害保険に事前の加入をお願いいたします。

[主要授業科目（学部・学科名）]